



～笑顔あふれる育ちのひろば～

令和5(2023)年6月20日  
社会福祉法人見真会 明光保育園

梅雨の晴れ間に恵まれて、暑い日が続いています。

きれいに色づいた「あじさい」の花は、雨が恋しいと少し元気がなさそうに見えます。

明光保育園の子どもたちは、新入園や進級から2か月を過ぎ、クラスの仲間との生活に慣れて元気な声と笑顔があふれています。

天気の移り変わりが多く中ですが、天気のよい日には、屋上や園外保育へ出て、しっかり身体を動かして遊ぶようにしています。6月19日(月)からは、沐浴やプール遊びを始めています。

白・青・黄組は、5月18日(木)に春の遠足で石原公園、瀬野川河川敷に行きました。広い場所で、みんなで仲良くお弁当を食べて、異年齢の子どもと一緒にゲームをしたり遊んで交流を深めました。また、草花や昆虫、鳥、魚を見付けたり、川のせせらぎを聞くなどの身近な自然に触れることができました。

園では、保育を構成している養護と教育をクラス担任と9分野の専門支援担当が相互に連携して、子どもたちの健やかな育ちを支援しています。子どもたちの生きる力を育むため、一人ひとりの異なる育ちや多様な個性、思いに寄り添って、小さな気付きを大切に「なに、なぜ？」の興味、関心を高めて、やってみようという意欲と持続力を育てていきます。

また、不適切な保育とされる①子どもの人権を尊重しない関わり②物事を強要したり、脅迫的な言葉がけ③罰を与えたり、乱暴な関わり④子どもの育ちや、家庭環境への配慮に欠ける関わり⑤差別的な関わりなどの発生を未然に防止するため、複数職員によるチーム保育を行うとともに、人権や人格を尊重する実践的な研修への参加、定期的な自己評価などを導入していきます。

これから、暑さが増してくる中、子どもたちの夏風邪も心配されます。ご家族みんなで健康な体力づくりと「手洗い」「うがい」で病気を予防して、楽しい夏を乗り越えていきましょう。

### 【子育てワンポイント】



「子どもの権利条約」をご存じですか？

子どもたちが、人間らしく、幸せに生きられ、健康に成長するために必要なことは、世界のどこで生まれても「おなじ」です。

それを「子どもの権利」と呼び、すべての子どもには生まれながらに「人としての権利」があり、誰もそれを奪うことはできません。

日本を含めて、世界196の国と地域が、この条約を守ることを約束しています。

子どもたちには4つの権利があり、その1つに「参加する権利」…自由に自分の意見を表す権利を持ち、子どもの発達に応じて十分考慮されなければならない。が、あります。

園では、自分の思いを言葉では十分に伝えることができない子どもたち一人ひとりの言葉や表情、仕草、泣いたり、伝えようと自己主張する姿を職員がしっかりと受け止め、職員に思いを伝え、聞いてもらえる安心感を育み、子どもたちの気持ちを尊重する保育を進めます。

### 【大雨が降ったら、ここに注意！】

梅雨の時期になりました。大雨や土砂災害にも注意が必要になってきます。

当園は、急傾斜地崩壊危険区域(土砂災害警戒区域)にあり、大雨などにより、土砂災害が発生する危険性があります。このため、次の場合は、園児の安全確保を最優先として登園を控えていただく場合があります。

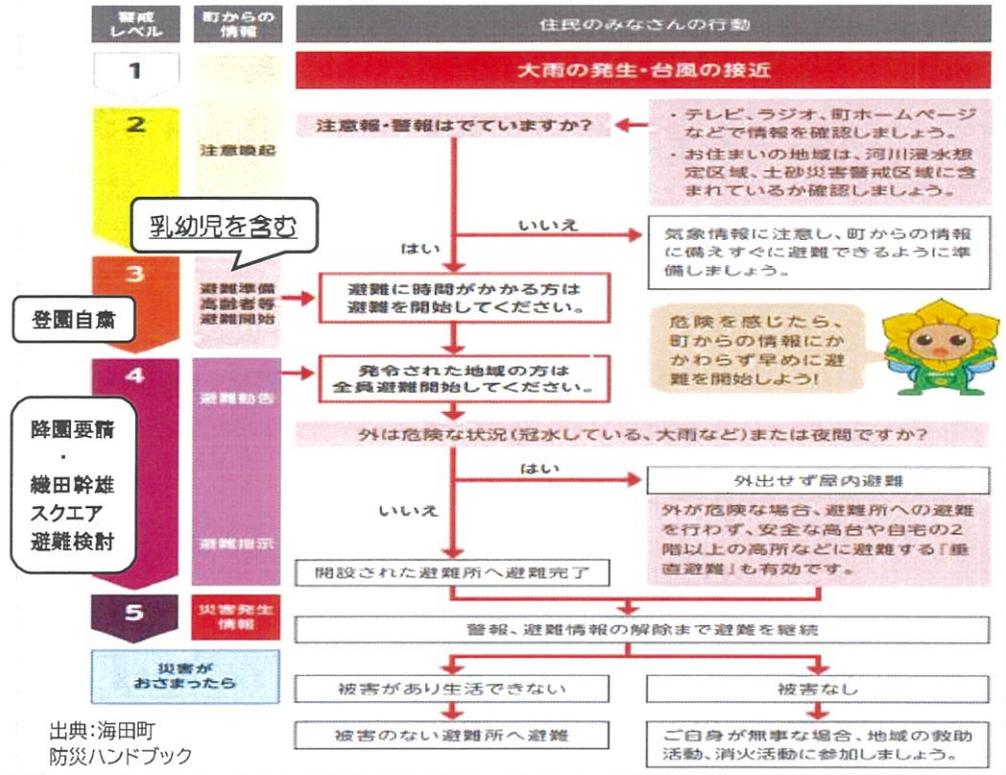
午前6時時点で海田町が稲荷町(当園の地区)に土砂災害について、次のいずれかを発令しているとき。

- ① 警戒レベル3 「高齢者等避難(乳幼児等含む。)」
- ② 警戒レベル4 「避難指示」
- ③ 警戒レベル5 「緊急安全確保」

開園中に警戒レベル3が発令された場合は、直ちに園児を上階層に避難(垂直避難)させ、レベル4、5が発令された場合は、保護者にお迎えを要請し、織田幹雄スクエア(海田町中店)への避難を検討します。

### 確認しよう 避難時の行動(風水害)

町からの情報に、どのような行動をとる必要があるか確認してみましょう。災害が発生したら、周囲の状況などをよく確認して行動しましょう。



日	月	火	水	木	金	土
11	12	13	14	15	16	17
入梅 休日保育		体操のひろば (青・黄組)	調整会議	避難訓練 幼児会議	ありがとうの日の会 水遊びの話 乳児会議	
18	19	20	21	22	23	24
父の日 休日保育	沐浴・水遊び開始 ⇒ 個人面談開始 ~7月7日	茶道のひろば (白組)	夏至	絵画表現のひろば (白組)	毎週金曜日 語学支援	
25	26	27	28	29	30	7月1日
休日保育	身体測定週間	体操のひろば (白・桃組) 評議委員会	誕生日会	歯科検診		国民安全の日
2	3	4	5	6	7	8
休日保育	ソフトクリームの日	調整会議			誕生日会 七夕のついで 川の日 小暑	
9	10	11	12	13	14	15
休日保育				幼児会議	乳児会議 ゼリーの日	マンゴーの日

天気の良い日を中心に園外保育を行います

## クラスの紹介



### のどが渇く前に水分を取りましょう！

高温多湿で熱中症が心配な季節となりました。のどが渇いていなくても小まめに水分を補給しましょう。子どもたちは体温の調節機能が十分でないことから特に注意が必要です。



### ホームページ(HP)を開設しています！

(URL) <https://kenshin-meikou.jp>

登園届、投葉依頼書なども出力できます。苦情や要望なども受け付けています。内容を充実し、情報発信を進めます。

#### 【ひよこ組 0歳児 8人】担任:森戸, 副担任:倉留

毎月新入園児が加わって、にぎやかに過ごしています。新入園児は、まだ涙が出ることもあります。一緒にいる保育士の顔をじっと見たり、周りの子どもたちが遊ぶ姿を見つめるようになってきました。他の子どもたちは、玩具で遊んでいる子の側に来て一緒に遊ぼうとしたり、部屋の同じ場所に集まってみたりと、周りへの興味が出てきています。

生活リズムも整ってきて、おやつや離乳食と一緒に手づかみで少しずつ食べられるようになってきました。絵本を集まって座って集中して見たり、手遊びに合わせて手や体を揺らして笑顔が増えています。

屋上まで階段をハイハイで登り、マットに座ったりつかまり立ちをしたり、周りを歩いたりして遊んでいます。

一人ひとりの月齢や発達に寄り添って、欲求や思いを受け止め、丁寧に応えることで保育士との信頼関係を育てていきます。

また、沐浴を取入れて汗を流す気持ちよさを感じながら、遊んで、食べて、眠る基本的な生活習慣を整えて、快適に過ごせるように支援していきます。

#### 【黄組 3歳児 18人】担任:今田

遠足では、交通ルールを守って道路を歩いたり、横断歩道を渡ったり大切なきまりを守りながら、手をつないで瀬野川沿いの石原公園までを往復しました。4月に比べて足腰がしっかりして、全員が最後まで歩くことができました。保育士に「白い線から出ないよね」などと、自ら考えて行動できるようになっています。

途中の道で出会う人たちに大きな声で「おはようございます」とみんなであいさつすると周りに沢山の笑顔が広がっていました。

子どもたちは、へとへとになって「疲れた」と言って帰ってきましたが、達成感を感じ、自信に満ちた顔をしていました。

クラスでは、気の合う子の名前を呼んで、互いに好きな遊びを楽しんでいます。子ども同士の関わりが増える中では、うまく自分の気持ちが伝わらず、相手の気持ちが分からず、ぶつかり合いも多くなっています。

一人ひとりの気持ちを保育士が受け止めながら、言葉を添えて、仲立ちをしながら、自分の気持ちの伝え方や相手の気持ちに気付くことができるように支援していきます。

梅雨の中、晴れた日は、屋外へ出て、走る、跳ぶ、転がるなど、全身運動を楽しみながら体の動きのバランスをとったり、雨の日には室内で色ぬり遊び、切り紙遊び等の様々な素材を使った遊びを取り入れ、みんなで楽しみながら取組めるよう支援していきます。

#### 【桃組 2歳児 13人】担任:松本

進級した桃組での「自分でできることは自分です」生活にも慣れてきました。保育士と自分で朝の準備をし、コップや手拭きタオルを用意する、巾着袋をフックにかけるなどの身の回りのことができるようになっていきます。

また、園児の朝の用意が整うことで、みんなで朝の会を開始しました。季節の歌、朝の歌を歌って挨拶をしています。

活動の中では、元気よく挨拶をすると気持ちがいいことや、褒められると嬉しくて、もっと頑張ろうという思いが育まれています。

「給食で苦手なものも少しずつ食べてみる」「自分でトイレに行く」「登り棒を登る」など、一人ひとりが「やってみる！」の目標を育みながら生活しています。

園で共同生活を送るためには、ルールや決まりがあることに気付かせるはじめています。毎日の生活の中で、物事には順番があることや全員が揃うまで待つこと等のルールと守ることを分かりやすく伝えていきます。

その中で、自分も、そして周りの身近な人も大切なことを伝えながら、「自分でやってみてできた！」の経験を増やし、自我の育ちを支援していきます。



#### 【青組 4歳児 16人】担任:島崎

遠足では、交通ルールを守ってしっかりと歩くことができ、自分の身を守る行動が身に付いてきたと感じます。おいしいお弁当を食べ、公園や川沿いで異年齢児とデカパン競争を楽しんだり、蝶などの昆虫や草花を見つけたり、身近な自然に興味を持ちながら、みんなと走り回り、遊んで、大きな声を出して、園児同士の触れ合いを深めました。

保育の中では、教えてもらったり、本を見たりして折り紙を自分で折れるようになりました。子ども同士と一緒に話をし、考えたり、工夫して一つの作品を完成させることもあります。

段ボールやカップ等の廃材を見付けると「何を作ろうか」と想像力を発揮して、切ったり、貼ったり、描いたりしながら作品を完成させて、作る楽しさを感じています。また、できた作品でごっこ遊びが始まり、遊びが発展しています。

集団遊びでは、ぐるぐるジャンケンなどの勝ち負けのある遊びでみんなと協力する気持ちや競争心も出てきています。

少しずつグループに分かれての遊びやグループでの手伝い活動などを取り入れいき、園児同士が関わりながら、責任感を持って取り組むこと、仲間といることの楽しさ、喜びを感じ、つながりを深めていくことを進めていきます。

#### 【赤組 1歳児 8人】担任:金井

最近では、誰もが涙することなく、笑顔で登園できるようになりました。クラスの周りの子どもたちへの興味が増えてきて、隣に行くと座ったり、目が合うと互いに微笑むことが増えてきました。誰かが泣いていると、顔をのぞき込んで、どうしたのかと気にかけています。

屋上に遊びに行くと言えると、「ゴーゴー！」と言って、保育士とつないだ手を上下に振って嬉しさを表現します。屋上では、鳥のさえずりに耳を澄まして姿を見つけて指差したり、落ち葉を拾ったり、昆虫を見つけたりと、身近な自然を感じながら遊んでいます。

屋上では、ボール投げをしたり、追いかけて走ったり、滑り台を登ったり滑ったり全身を使って楽しんでいます。

一人ひとりのペースや気持ち、健康に寄り添い、日々の探索活動などを通して、見る、聞く、触れる等の五感を使った経験を重ねます。

また、子どもたちの言葉や表情、行動をしっかりと読み取り、適切に応えながら、信頼関係の下、周りの人や物への興味、関心が持て、深まるように支援していきます。



#### 【白組 5歳児 18人】担任:細川

クラスでは、7月のデイキャンプに向けてグループを作って活動しています。園外保育での、よもぎ摘みや野菜の苗の購入、遠足の時にもグループで行動しています。リーダーには、グループのメンバーを取りまとめたりすることなどを任せています。

リーダーになれば、少し緊張しながら任された役割を務めようと、頑張る姿があり、やり遂げることで、リーダーの自覚が生まれ、喜びから達成感を感じています。

遠足では、グループで年下の子と手をつなぎ、道路を安全に歩いたり、歩くペースに合わせたりと、年長児としての自覚が芽生えています。

これから、グループ活動を増やしてデイキャンプなどの様々な経験をとおして、グループの仲間と同じ目的に向かって、協力し助け合う大切さや仲間意識が育まれるよう支援していきます。

また、製作活動を通して、他の子の作品に興味を持って見て、「かわいい」「こうやってやるのいいね！」など、子ども同士で作品を褒め、認め合う姿が見られたり、他の子が困っていることに気付き、手伝おうとしたり、一人ひとりの姿や良さに少しずつ気付けるようになってきています。それぞれの仲間の良い所に気付いたり、自分の良さも認められる中で、さらに自信を持って、自分の力を安心して発揮していけるような保育を進めていきます。

☆職員の専門性を活かして、  
チームで子どもたちの育ちを支えます☆



①知識能力（知育）支援担当：原田園長代理

黄組は、初めて色鉛筆での塗り絵に挑戦しています。まだ鉛筆を持つのが難しいですが、色を塗ることで絵に命が吹き込まれることを楽しんでいます。書くことの基本となる鉛筆を持つこと、色を塗ることがスムーズにできるよう教材などを使って支援します。

白・青組は、園外保育の中で、自然に親しみ、草花、生き物、身近な自然に触れ、興味・関心から、図鑑の活用、映像の活用などをとおして知識の広がりや深みにつなげていきます。

また、G7広島サミットの開催を機に、広島から世界へ目を向け、世界の国々や色々な出来事に触れて知識を深めていきます。

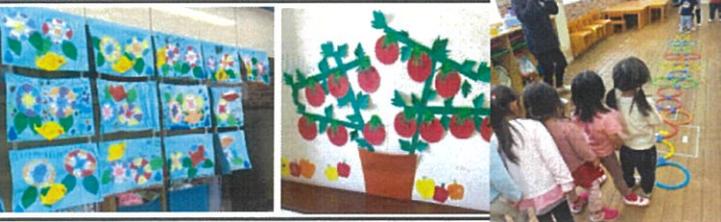


-職員の産休について-  
蒲生主任保育士が6月1日から出産休暇に入りました。  
復帰は、令和6年7月の見込みです。

②創作・造形支援担当：奥崎乳児主任

白・青組は、G7広島サミットを知らせるガーデン・ピックに平和のメッセージを書いて玄関のプランターに取り付けました。子どもたちは「みんなと仲良くする」「ケンカをしない」ために考えた言葉と自分の顔を絵の具やクレパスで表現しています。

創作、造形活動では、紙や粘土、木材、木の実などの素材を選ぶことから、色紙やクレパス、絵の具などで着色、装飾することで、子どもたちのイメージが広がり、作る楽しさ、自分で作った喜びを感じられるように支援していきます。



③運動機能支援担当：蒲生主任、西川保育補助員

乳児組、黄組は、屋上で鉄棒やマット、トンネル、ボール、トランポリン、平均台など、様々な運動器具で遊びながら親んでいます。遊びを通して運動の楽しさが広がっています。

白・青組は、一人ひとりが「逆上がり」「縄跳び10回」など、目標を立てて、その達成に向けて練習に励んでいます。

安全に配慮して、色々な活動をおして、運動や身体を動かす楽しさを感じながら、運動能力が付くように支援をしています。



④言語表現支援担当：石崎幼児主任

子どもたちは、園外保育に出かけると虫や草花を沢山見付けます。幼児組では、園に帰って一緒に図鑑で調べて興味や関心を深めています。子どもたちは、個性豊かに昆虫や草花、色や形、乗り物など、何にでも興味を持ち、幅を広げていっています。名前を知ると「英語じゃ、どういふ？」と聞いてくることもあります。

子どもたちの「不思議だな」「なんだろう」の関心の気持ちを大切に、興味を広げたり、新たな知識を得る面白さを感じられるように、園外保育に行ったり、図鑑、映像DVDを使ったり、絵本の読み聞かせをおして、学びを支援していきます。



⑤音楽表現担当：相原リーダー

ピアノを弾き始めると、遊んでいても「音楽遊びがはじまるよ」と、嬉しそうに子どもたちが周りに集まってきます。

子どもたちからは、「ピアノかする！」「歌いたい！」「楽器は何にする？」など、音楽を主体的に楽しむことが進んでいます。

子どもたちのやりたい気持ちに寄り添い、季節折々の歌を組み合わせて歌詞や音程を、歌ったり、色々な楽器を打ち鳴らしたりしながら、すべての子どもたちが音楽に親しみ、楽しさを実感できるように支援していきます。

⑥食育・健康支援担当：酒井、佐々木 食育リーダー、栄養士  
今田 副主任、黄組担任

幼児組では、季節の食材を使った「よもぎ団子」のよもぎを摘みに行ったり、「豆ごはん」の豆のさやむきをしました。

食と食材への関心から苦手な食材でもチャレンジする子どもが増えていきます。「食べられたよ」「おいしかったよ」「お代わりした」と自慢する一方で「まずい」と吐き出す子どももいます。

子ども一人ひとりのペースに合わせて、好き嫌いを少なくしたり、食べる分量を増やしたり、好ましい食習慣が身に付いていくよう、メニューや食材、食器、給食環境を工夫しながら支援します。

健康支援では、朝の生活で大切な「顔を洗う」「朝ごはんを食べる」「歯を磨く」「トイレに行く」などの基本的な生活習慣について、早寝、早起きをして、朝食を食べる大切さについて学びました。

虫歯予防デーには、歯の大切さ、歯磨きの仕方などを模型を使って伝えました。

病気に負けない強いカラダや体力づくりに向けて、絵本や教材を使って支援していきます。

★ お知らせ ★

語学支援をお願いしているヴァイシュナビさんがご家族の都合でインドに帰国されています。

この間の語学支援は、石崎幼児主任と吉井保育補助員が代わって毎週金曜日に活動を行っています。園では、リモートでの支援や他国語の教員(ALT)としての来園を願っています。



語学支援風景



5月の誕生日会

⑦園芸・栽培支援担当：米田園長

園で作った野菜でどんな料理を食べたいかな？

白組は、「かぼちゃカレーとサラダ」と決まり、7月のデイキャンプで作ろうと、かぼちゃ、にんじん、ピーマン、きゅうりを栽培しています。青、黄組は、「ピザトースト」。トッピングに、とうもろこし、とまと、なす、オクラを栽培しています。

今年も土に肥料を混ぜ込む土づくりから、野菜の苗の買付、植付け、そして毎日の水やりと園児全員で取り組んでいます。

年齢に応じて、植物をいたわり、成長を見守る栽培から、収穫を喜び、調理して食べて、カラダの栄養となるなど、季節の中で幅広く食育を学んでいきます。



⑧安全教育担当：石崎 幼児主任

5月は、土砂災害・豪雨を想定した避難訓練を行いました。

建物の上に避難する垂直避難では、幼児組の子どもたちは自分たちがどこに避難すればよいかを正しく理解できています。乳児クラスの子どもたちは、職員に連れられて避難できています。

避難中は、「お・は・し・も」(押さない、走らない、しゃべらない、戻らない)の約束が守れるようになり、安全な避難行動が身に付いてきています。

どこにいても、どんな災害が起きても、自分の身は自分で守る行動ができるよう、訓練を繰り返して丁寧に伝えていきます。

また、海田警察、海田町などのご協力により交通安全教室を開催しました。あいにくの雨模様でしたが、室内で「うさぎさん」と正しい信号の渡り方を練習しました。

# たのしくたべようニュース

## 乳・幼児期のかんで食べる力

子どもたちは、歯の萌出や舌・口唇の動かし方が発達することによって、さまざまな食べ物をかんで食べられるようになります。

### 歯の発育に合わせた食べ物の工夫

食べやすい工夫で、いろいろなものが食べられるようにしていきましょう。

乳臼歯がはえる前 1歳～1歳半	乳臼歯左右1組の時 1歳半～2歳半(3歳)	乳臼歯がはえそろう時 3～5歳
		
前歯が上下はえそろうと前歯で食べ物をかみ切ることができるほか、歯茎でつぶせるものが食べられます。	第一乳臼歯が上下はえそろっても、かむ力は未熟です。食べにくいものは、食べられない場合があります。	乳歯が20本はえそろうと、口の中が安定し、いろいろな食べ物をかんで食べられるようになります。

#### 第一乳臼歯がはえたら

第一乳臼歯と呼ばれる最初の奥歯がはえそろうと、りんごの薄切りや肉だんごなどは、上手に食べられるようになります。まだ、奥歯でのすり切りがよくできないので、葉物野菜やきのこなどはうまくかみ切れません。



#### 第二乳臼歯がはえたら

かむ面の大きな一番奥の第二乳臼歯がはえそろうと、すり切る動きが十分にできるようになります。繊維質の肉や野菜、弾力のあるもの、生野菜なども食べられるようになってきます。かみごたえのある食品も少しずつ取り入れていくとよいでしょう。



## 口の中はどうなっているの？ 食事中に飲み物を欲しがるとき

食べ物は、よくかんで唾液と混ざること、のみ込みやすい状態になります。あまりかまないと、のみ込むための水分が必要になるため、飲み物を欲しがると考えられます。また、せかされて食事をすると、丸のみや水分で流し込みやすいといわれています。飲み物を欲しがったら「食べ物をのみ込んでからね」と伝えて、かむことを促しましょう。



## 食品による窒息を防止するには

窒息を起こさないためには、子どもの食べる力(かむ、のみ込む力)に合った食事にして、窒息しやすい食品に気をつけます。また、走り回ったり、遊びながら食べたりしないようにして、食べることに集中させましょう。

### 窒息を起こしやすい食品

丸くてつるつとしていてるもの	【予防・注意点】
ミニトマト・ぶどう・さくらんぼ・うずらの卵・球形のチーズ・カップゼリー・ソーセージ・こんにゃく・白玉だんご・あめ・ピーナッツなどの種実類・豆類・ラムネ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1/4にカットして小さくする</li> <li>・ソーセージは縦半分に切る</li> <li>・種実類や豆類は5歳以下は食べさせない</li> </ul> 
粘着性が高く、だ液を吸収するもの	【予防・注意点】
もち・ごはん・パン類・焼きいも・カステラ・せんべい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分をとってのを潤してから食べる</li> <li>・一口量を少なくして、口に食べ物を詰め込まない</li> <li>・よくかむ</li> </ul>
かみ切りにくいもの	【予防・注意点】
えび・貝類・りんご・いか・肉類・生のにんじん・棒状のセロリ・みずな・きのこ類・グミ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・えび、貝類は2歳以上から</li> <li>・小さく切る</li> <li>・グミは4歳以上で口に入れるのは1個ずつにする</li> </ul>

#### そのほか

のりは刻みのりをもみほぐしたり、ひき肉はとろみをつけたり、ゆで卵は細かくして何かと混ぜたり、煮魚はやわらかく煮込んだりします。

参考文献：日本小児科学会「～食品による窒息 子どもを守るためにできること～」 消費者庁「食品による子どもの窒息・誤嚥事故に注意！」ほか

監修 和洋女子大学 家政学部 教授 柳沢幸江先生